

笹岡啓子■Kanko-10

撮影データ・ハッセルブラッド 503C XE・ディスタゴン 60
ミリF 3.5・フジカラー Newプロ 400

と後をついていく。

2005年3月、渡良瀬遊水地のヨシ焼きへ。強風のための順延で3度目の正直。快晴。東京ドーム700個分の敷地を一日で焼き上げるのだからよしとやそとの野焼きじゃない。ともすれば大火災だ。わくわくしながら向かった土手のポイントはすでにフル装備のカメラを構えた人たちで埋まっている。火は思った以上に遠く、ぼんやり燃えていてゆらゆらのぼる黒煙しか見えない。みんなばっかり超望遠を構えているけれど、当然物足りないらしく、立入禁止を乗り越えて燃えているほうへどんどん入っていく。撮りたいという欲望は、強い。他人事のように思ひながらもその影に隠れるように自分もちらりと後を見ています。

● 今月の表紙は恒例の中古カメラ大特集に合わせて、東京・高田馬場にある「スズキカメラ商会」を撮影させていただきました。このお店は終戦の年、昭和20年に東京・代々木に開業(当時の店名は「ニユーフォト」)、昭和27年に現在の高田馬場駅近くに新たにオーブンした知る人ぞ知る老舗店。お店は10坪ほどの小さな規模ですが、開店当時からほとんど内装を変えていないというその併まいは、中古カメラ好きならずとも思わずうなつてしまふ洪さをそこはかとなくかもし出しています。

● 創業主の鈴木保秋さんは今年89歳でご健在。高齢のためお店はご子息の安城さんが切り盛りしていますが、時折、店頭にもお顔を出され、貴重なお話し伺えることもあります。運良く、そんなチャンスに恵まれば、この昭和の香り濃く漂うお店でのご主人とのカメラ談義はまさに極上のひとときとなるはずです。(M)



世界の名瀑 [5] アフリカ

白川義良 (しらかわ・よしかず)

1935年愛媛県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒。ニッポン放送、フジテレビを経てフリー。毎日芸術賞、芸術選奨文部大臣賞、全米写真家協会最高写真家賞、菊池寛賞、日本芸術大賞、紫綬褒賞他多数受賞。個展、作品集多数。



フライトン

小瀬達郎 (こたき・たつお)

1949年東京都生まれ。東京造形大学写真科卒。準朝日広告賞受賞。主な個展に「VENEZIA」「風の余韻」「静謐なる風景」。写真集に「巴里の大道芸人」「VENEZIA」著書多数。東京造形大学非常勤講師。今年、東京・御茶ノ水にgallery bauhausを開設。



子供の時間

小西淳也 (こにしひろや)

1971年石川県生まれ。九州産業大学写真学科卒。新しい写真家登場シリーズ特別賞、日本写真家協会新人賞受賞。個展に「Ha-La-La-La-De-Day」「微笑の肖像」「Portraits」。現在、能登印刷株式会社勤務。



行秋

下瀬信雄 (しもせ・のぶお)

1944年満州国新京生まれ。東京綜合写真専門学校卒。日本写真協会新人賞、山口県選奨、伊奈信男賞。受賞。著作に『萩・HAGI』『萩の日々』、エッセイ集に『下瀬写真館の春夏秋冬』。山口県萩市在住。



son et lumière

松井洋子 (まつい・ようこ)

1969年東京都生まれ。東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程社会(哲学)卒。植田正治氏に師事。サークル入会。「'00年植田正治事務所勤務。写真と映画のワークショップ「image box 東中野」スタッフ/プロデューサー。第18回写真の会賞受賞。写真集に『風知草』。写真展多数。

連載

Kanko[10]

笹岡啓子

(ささおか・けいこ)

1978年広島県生まれ。東京造形大学卒。自らが参加するphotographers' gallery(東京)を中心として作品を発表。小冊子『HORIZONS』を刊行(自主制作)。写真展多数。



80年代ナバシストーリー+ナバシ2006年

北井一夫 (きたい・かずお)

1944年中国鞍山生まれ。日本大学芸術学部写真学科中退。日本写真協会新人賞、「村へ」で第1回木村伊兵衛賞受賞。写真展多数。主な写真集に『1970年代NIPPON』『1990年代 北京』。



華やかな街の中で

平松伸吾 (ひらまつ・しんご)

1973年愛知県生まれ。日本福祉大学を卒業後台湾へ留学。東吳大学社会学研究所退学。東京総合写真専門学校第二学科卒。現在、世界中にある「中華街」を中心に写真を撮り続けている。



OKU NO HOSOMICHI

レオナルド・ペレガッタ

1970年イタリア生まれ。Fine Arts at the School of Visual Arts of New York卒。プロフェッショナル・フォトグラファーとして演劇やダンスの分野で活動。The Festival of the Two Worldsの公式カメラマンを務める。'03年から日本に拠点を移し、雑誌などで活動中。



ふる里回想

仲野美智子 (なかの・みちこ)

1938年鳥取県生まれ。写真家山中三平氏に師事。日本発色カメラ教室入門、桜井忠義氏に師事。写団「玄」に入会小川照夫氏に師事。主な受賞にカメラ毎日、フォトアート、千葉県展、東京写真月間女性の部など。全日本写真連盟、キヤノンフォトサークル、写団「玄」会員。



標 (じるべ) ~バス停にて[7] 中寺

柴田秀一郎

(しばた・しゅういちろう)

1963年東京都生まれ。日本大学法学部卒。「現代写真研究所」第23期全課程修了後、竹内敏信セミ在学中。第11回酒田市土門拳文化賞・奨励賞受賞。